

新規試用医薬品(平成23年10月薬事検討委員会)

ザイザル錠 5mg
 ネキシウムカプセル 20mg
 ビビアント錠 20mg
 ファムビル錠 250mg
 ベタニス錠 50mg

アンテベートローション 0.05%
 ヒルドイドローション 0.3%
 ビダーザ注射用 100mg
 ベネフィクス静注用 2000

薬品名	処 ザイザル錠 5mg xyzal	メーカー	GSK
		申請科	皮膚科
規格	5mg/錠	一般名	レボセチリジン塩酸塩
効能・効果	〔成人〕アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症 〔小児〕アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒		
用法・用量	〔成人〕通常、成人にはレボセチリジン塩酸塩として1回5mgを1日1回、就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は1日10mgとする。 〔小児〕通常、7歳以上15歳未満の小児にはレボセチリジン塩酸塩として1回2.5mgを1日2回、朝食後及び就寝前に経口投与する。		
使用目的及び理由	ジルテックの活性本体であるレボセチリジンのみを製剤としたもので、ヒスタミン H ₁ 受容体に安定的に結合し、脳内移行率が低いいため、ジルテックと比較して効果、安全性に優れている。		
その他			

薬品名	処 ネキシウムカプセル 20mg nexium	メーカー	第一三共
		申請科	内科
規格	20mg/cap	一般名	エソメプラゾールMg水和物
効能・効果	<ネキシウムカプセル20mg> (10mg錠と20mg錠では一部適応症が異なるので注意すること) 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃		
用法・用量	<ネキシウムカプセル20mg> 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを1日1回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。 逆流性食道炎 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを1日1回経口投与する。なお、通常、8週間までの投与とする。さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1回10～20mgを1日1回経口投与する。 非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを1日1回経口投与する。 ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mg、アモキシシリン水和物として1回750mg(力価)及びクラリスロマイシンとして1回200mg(力価)の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回400mg(力価)1日2回を上限とする。プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの3剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mg、アモキシシリン水和物として1回750mg(力価)及びメトロニダゾールとして1回250mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。		
使用目的及び理由	既存のPPIと比較し、効果発現が早く、強い酸分泌抑制効果を有し、CYP2C19の遺伝子多型の違いによる効果のばらつきが小さいPPIである。NSAIDs潰瘍の再発抑制に関して、唯一常用量が使用できるPPIである。		
その他			

薬品名	処 ビビアント錠 20mg viviant	メーカー	ファイザー
		申請科	産婦人科
規格	20mg/錠	一般名	バゼドキシフェン酢酸塩
効能・効果	閉経後骨粗鬆症		
用法・用量	通常、バゼドキシフェンとして、1日1回20 mgを経口投与する。		
使用目的 及び理由	閉経後骨粗鬆症治療を目的に開発された新規の SERM(選択的エストロゲン受容体モジュレーター)である。1日1回1錠(20mg)で、食事の有無や時間にかかわらず服用できる。		
その他	院外限定での使用予定		
薬品名	処 ファミビル錠 250mg famvir	メーカー	マルホ
		申請科	皮膚科
規格	250mg/錠	一般名	ファミシクロビル
効能・効果	帯状疱疹		
用法・用量	通常、成人にはファミシクロビルとして1回500mgを1日3回経口投与する。		
使用目的 及び理由	バルトレックス錠と同等の臨床効果があり、錠剤は小型で、尿中排泄が良いため、水分補給の注意喚起がないので、高齢患者に有用と思われる。		
その他	院外限定での使用予定		
薬品名	劇 処 ベタニス錠 50mg betanis	メーカー	アステラス
		申請科	泌尿器科
規格	50mg/錠	一般名	ミラベグロン
効能・効果	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁		
用法・用量	通常、成人には、ミラベグロンとして50mgを1日1回食後に経口投与する。		
使用目的 及び理由	世界で初の選択的 β_3 アドレナリン受容体作動薬(β_3 アゴニスト)で、まったく新しい機序での過活動膀胱(OAB)の適応を取得した薬剤である。抗コリン薬の懸念事項である口渴・便秘がプラセボと同程度、また、効果発現が蓄尿期のみであるため、残尿量・尿閉の恐れが極めて少ない薬剤である。		
その他			
薬品名	劇 アンテベートローション 0.05% antebate	メーカー	鳥居薬品
		申請科	皮膚科
規格	10g/瓶	一般名	ヘタメタゾン酢酸エステル プロピオン酸エステル
効能・効果	湿疹・皮膚炎群(手湿疹、進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む)、乾癬、虫さされ、薬疹・中毒疹、痒疹群(ストロフルス、じん麻疹様苔癬、結節性痒疹を含む)、紅皮症、紅斑症(多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑)、ジベル薔薇色粒糠疹、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、慢性円板状エリテマトーデス、肉芽腫症(サルコイドーシス、環状肉芽腫)、特発性色素性紫斑(マヨッキー紫斑、シャンパーク病)、円形脱毛症、肥厚性瘢痕・ケロイド、悪性リンパ腫(菌状息肉症を含む)、アミロイド苔癬、水疱症(天疱瘡群、ジューリング疱疹状皮膚炎・水疱性類天疱瘡)		
用法・用量	通常、1日1~数回、適量を患部に塗布する。		
使用目的 及び理由	尋常性乾癬などの難治性皮膚疾患の頭部病変の治療に使用したいため。		
その他	院外限定での使用予定		

薬品名	ヒルドイドローション 0.3% hirudoid	メーカー	マルホ
		申請科	皮膚科
規格	25g/瓶	一般名	ヘパリン類似物質
効能・効果	<p>皮脂欠乏症、進行性指掌角皮症、凍瘡、肥厚性癬痕・ケロイドの治療と予防、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、血栓性静脈炎(痔核を含む)、外傷(打撲、捻挫、挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸(乳児期)</p>		
用法・用量	通常、1日1～数回適量を患部に塗布する。		
使用目的及び理由	保湿能を有する乳剤性ローションで、のびがよく、広範な患部に塗布しやすく、使用感も良好である。		
その他	院外限定での使用予定		

薬品名	劇 処 ビダーザ注射用 100mg vidaza	メーカー	日本新薬
		申請科	内 科
規格	100mg/瓶	一般名	アザシチジン
効能・効果	骨髄異形成症候群		
用法・用量	<p>通常、成人にはアザシチジンとして75mg/m²(体表面積)を1日1回7日間皮下投与又は10分かけて点滴静注し、3週間休薬する。これを1サイクルとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>		
使用目的及び理由	<p>本剤は、高リスク患者に対し、従来の通常治療と比べて、生存期間を有意に延長した。また、血液学的寛解・改善作用及び輸血非依存状態に導くことが証明されている。</p>		
その他			

薬品名	生 処 ベネフィクス静注用 2000 benefix	メーカー	ファイザー
		申請科	内 科
規格	2000国際単位/瓶	一般名	ノナコグアルファ (遺伝子組み換え)
効能・効果	血友病B(先天性血液凝固第 因子欠乏症)患者における出血傾向の抑制		
用法・用量	<p>本剤は製剤に添付された溶解液を全量用いて溶解し、数分かけて緩徐に静脈内に注射する。初回用量は通常、本剤50国際単位/kgとするが、患者の状態に応じて適宜増減できる。また、次回以降は患者の状態、血液凝固第 因子の上昇値に応じて適宜増減する。</p>		
使用目的及び理由	<p>初の遺伝子組み換え血液凝固第 因子製剤。全ての規格で溶解に必要な液量は、5mLで統一されており、少ない液量で投与が可能。投与時間の短縮が図れる。</p>		
その他			

規制区分：毒：毒薬、劇：劇薬、麻：麻薬、向：向精神薬、処：処方せん医薬品

習：習慣性医薬品、生：生物由来製品、特：特定生物由来製品、放：放射性医薬品